

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：つくし保育園 戸塚	種別：認可保育所
代表者氏名：高橋 あさみ	定員（利用人数）：90(91) 名
所在地：〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町4014-1マリナビル3F～5F	
TEL：045-443-8088	ホームページ： https://shuhokai.or.jp/tsukushi/totsuka/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 秀峰会	
職員数	常勤職員：17 名 非常勤職員：7 名
専門職員	（専門職の名称）： 名
	保育士：22名 看護師：1名
	幼稚園教諭：16名
施設・設備 の概要	（居室数）
	居室：0歳児室
	居室：1歳児室
	居室：2歳児室
	居室：3歳児室
	居室：4歳児室
	居室：5歳児室
	（設備等）
	設備：給食室
	設備：調乳室
	設備：沐浴室
	設備：事務室
	設備：スタッフルーム
	設備：園児用トイレ
	設備：エレベーター
	設備：屋上園庭

③理念・基本方針

<理念>

<社会福祉法人秀峰会 理念>

1. 人間が主体である
2. 連帯の輪を無限に広げていく
3. 日に日に新たな今日を創造していく

<つくし保育園 理念>

1. 自分で生きてゆく力を養う（自律）
2. 人と協調して生きる力を養う（社会性）
3. 美しさを感じる感性を育む（センスオブワンダー）

<基本方針>

- 受容された安全な環境の中で、主体的な活動を楽しみます。
- 人に対する愛情や信頼感をもとに思いやりの心を育みます。
- 子ども同士の遊びを通して生きる力を育みます。

- 自然や文化に触れながら、豊かな感性を養い子どもの夢を育てます。
- 保護者の方と話し合いながら共に考え、共に成長を見つめていきます。

<保育目標>

1. 心も体も元気な子
2. よく食べよく遊ぶ子
3. 人との関わりを楽しむ子
4. 考えて行動する子

④施設・事業所の特徴的な取組

<つくし保育園戸塚の特徴的な取組>

1. 不適切保育防止の取組

つくし保育園では虐待とまでは言えないが子どもたちに対して適切ではない保育を行うことを「不適切保育」と定義し、独自に不適切保育防止ハンドブックを作成している。虐待はいきなり起こるものではなく必ず前触れがあると考えており、これを見過ごせば虐待につながりかねない。その適切ではない保育を撲滅するため、園では日々の保育を振り返り毎月話し合いの時間を設けている。それぞれの気づきを伝え合い、子ども主体の保育について考えることで共通理解のもと保育を行っている。

2. つくしクラブ

5歳児を対象に実施。子どもたちが実社会で生きる力の基礎を育む体験型プログラム。子どもが主体的に活動する中で自分で考え・気づき・やってみたいという気持ちを持って実験や検証を行う。その体験を通して気付いたこと・考えたことを自分の言葉で伝える経験を積み重ね、受け止めてもらうことで自信へと繋げている。

3. 体操クラブ

2～5歳児を対象に実施。楽しみながら運動遊びを行う中で「やればできる」という気持ちを育てることを目的としている。人間形成の基礎となる乳幼児期に、楽しみながら「やればできる」経験を積み重ねることで自己肯定感を高めている。

4. 食育

つくし保育園の理念には「センスオブワンダー」があり、ひいては生命を大切にすることを伝えている。食育においても「命をいただいて元気に大きくなっている」ことを伝えるため、活動のひとつとして丸ごと一尾のさんまを使用し、さんまの生態を学んでいる。生のさんまに実際に触れ、日頃見ているさんまとの違いや生きていることを感じ、最後は自分の力で骨を取り分けて食べるという取り組みを行っている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2024年06月24日（契約日） ～ 2024年11月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2019年度）

⑥総評

【つくし保育園戸塚の概要】

●つくし保育園戸塚（以下、当園という。）は、社会福祉法人秀峰会（以下、法人という。）の運営です。法人は、社会的要請への適合をスローガンとして介護、看護、医療、保育の変容するニーズに応えるためにグループ全体が連携することで、地域社会を包括

的に支えていくことを経営の方針としています。「つくし保育園」の「つくし」の命名は、「つくしのような強い生命力のある子どもの育成」をねらいとして銘うち、子どもの姿を、真っすぐ空に伸びる強い生命力を持ち、様々な環境の中で逞しく成長する姿と重ね合わせられています。当園では、様々な体験を仲間と一緒に楽しみながら、生きる力の基礎を育み、職員は子どもたちの持つ成長する力・生きる力を信じ、十分な愛情で見守る保育を行っています。

●保育理念は、「自律」・「社会性」・「センスオブワンダー」の3つのキーワードで示され、「自律」とは、自分で生きてゆく力を養う、「社会性」は、人と協調して生きる力を養う、「センスオブワンダー」は、美しさを感じる感性を育む、を掲げ、日々の保育に組み込み実践しています。

●当園は、平成29年に法人の保育事業の系列園として4園目に開園し、定員90名にて0歳～5歳児までの保育を実施し、今年8年目を迎えています。園舎は5階建てビルの3階から5階を保育室とし、及び屋上（園庭）を借り上げた垂直型施設となっています。立地はJR線・市営地下鉄線「戸塚駅」より徒歩5分の利便性の良い場所にあり、駅前でありながら、環境整備が成された静かで安全に配慮された環境です。園舎周囲は、急速な大型マンション開発がされ、横浜市としては異例の人口増加傾向の地域となっています。そのため区内には保育所の新規開設も計画され、保育需要の高まりが見込まれます。

◇特長や今後期待される点

1. 【不適切保育の撲滅について】

法人の保育事業では、虐待について、疑われるだけでなく関わりが適切でない保育を不適切保育と位置付け、独自のハンドブックを作成し、法人系列園で統一した認識としています。虐待等権利侵害等の前兆を看過しないために日々の保育を振り返り、忌憚ない意見交換により個人感の意識是正に努めています。この実現により安心・安全な保育が基盤となり、笑顔のある安定した保育が行われています。

2. 【食育について】

保育理念である「センスオブワンダー」（「自然に触れて深く感動する力」という意味を持つ言葉）の感性から、子どもたちへ生命の大切さを伝え、食材に対しては「命をいただき、元気に成長させてもらう」ことを体現し理解していく等、豊かな感性を育む取組を実践しています。

3. 【子どもの主体性の育みについて】

当園では、自己肯定感を養うことを主眼に、子どもが実社会で生きる力の基礎を育む体験型プログラムとして「つくしクラブ」を導入しています。24のプログラムで構成され、子どもたちが自分で考え・気づき・やってみて検証していく、プロセスを大切に取組んでいます。また、体操クラブでは「やればできる」の気持ちを育む等、励まし・褒めて子どものやる気を導くよう取組まれています。

4. 【ICT導入について】

国及び県をはじめ、保育の質の向上に向けた取組として、保育者の業務環境の改善の必要性からICTの活用を推進しています。現世代の保護者のITリテラシーも高いことから導入の検討は必要かと感じています。まずは現業務の補完、置換えることで業務が軽減できる機能からの導入を段階的・計画的に進めることが望ましいと思われます。また、保護者連絡にメールを活用されているので、配信業務の軽減につながることも想定でき、

一考を期待しております。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 つくし保育園 戸塚

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

5年ぶり2回目の受審となります。1回目は開園から3年目の受審で、まだまだ保育が日々手探りの中でしたが、8年目を迎えた今年は、自分たちの積み上げてきた保育を振り返る良い機会となりました。

自己評価では、少人数でチームを組むことで、一人ひとりが保育や運営について深く考え、他者と意見を共有することで気付きへとつながりました。

当日は、設問に対して具体的な取組が不透明のものについては、一つ一つ丁寧にご説明いただき、実際には既に取り組んでいたことが分かり、理解が深まりました。自園の課題も明確になりましたので、今後、課題改善に向け努めてまいります。

利用者（保護者）アンケートでは、心温まるご意見を多くいただき、職員の大きな励みとなりました。しかしながら、即日改善すべきご意見もありましたので、気を引き締めて改善に取り組んでまいります。

《評価後取組んだこととして》

1. 利用者（保護者）アンケートの共有と改善対応
2. 園内研修の充実
3. 人材育成の見直し

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり